

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ウエディングデザイン（儀礼服飾） Wedding Design (Ceremony Fashion)		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(特になし)	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ファッションビジネス関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッションビジネス関連科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
阿部芳子	福祉棟3F	授業内に指示する		授業中に指示します
授業の概要				
結婚式（ウエディング）における女子・男子の衣装について、洋装・和装を学ぶ。また、人生の通過儀礼の服装についてデザイン、着装法をはじめ、歴史、意味、関連産業などについて学ぶ。若い学生にとって、結婚は人生の最大行事である。ウエディングやセレモニーファッションのコーディネート知識（TPO）を持つことは重要である。ウエディングデザインを主として、セレモニーファッションの知識・技術・関連産業について学び、プランナーやアドバイザーとしての知識と技術を身につけることを目的とする。				
授業の目標				
①婚礼衣装について、男女別の洋装・和装の衣装デザイン、着装法、素材、構成法などを説明できるようにする。②実社会でコーディネーターやアドバイザーとして仕事ができるように知識、技術を身につけられるようにする。③人生における儀礼行事の服装について、子供から大人まで、知識と着装法などを説明できるようにする。④装飾品としてのコサージュやブーケ、フラワー装飾について知識と技術を身につけられるようにする。⑤国家行事や国際的な行事、諸外国の事情に関して知識を習得できるようにする。				
授業の方法				
実物や資料を使用しての授業。プリント配布。貸衣装店での実情理解のために、学外授業にて着装法や名称、コーディネートの仕方等を学ぶ（12月1週目）。				
学習の成果（学習成果）				
①婚礼衣装について、男女別の洋装・和装の衣装デザイン、着装法、素材、構成法などを説明することができる。②実社会でコーディネーターやアドバイザーとして仕事ができるよう知識、技術を身につけることができる。③人生における儀礼行事の服装について説明できる。④装飾品としてのコサージュやブーケ、フラワー装飾について、知識と技術を身につけることができる。⑤国家行事や国際的な行事、諸外国の事情に関する儀礼的服飾の知識を得ることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス、 人生通過儀礼の歴史と慣習			
第2回目	ブライダル産業・関連産業			
第3回目	ウエディングドレスデザイン ①	新婦・洋装	デザイン	素材・着装法
第4回目	ウエディングドレスデザイン ②	新婦・洋装	昼・夜のフォーマル	
第5回目	ウエディングドレスデザイン ③	新郎・洋装	デザイン・素材・着装法	
第6回目	コサージュやブーケ、 フラワー装飾、 室内装飾			

第7回目	トータルコーディネートとコーディネートの考え方	まとめ	[小テスト]
第8回目	日本のきもの（和装）①	歴史・概略	
第9回目	日本のきもの（和装）②	子どもの成長祝いとスタイル=宮参り、七五三、成人式、結婚式	
第10回目	日本の婚礼衣装（和装）①	（打ち掛け、白無垢、紋付羽織袴）	特長と着装法
第11回目	学外授業（篠崎貸衣裳店）	貸衣装の種類と特徴、着装法、業務等を学ぶ。	[レポート]
第12回目	日本の婚礼衣装 ②	結婚式のスタイル（教会・神社・人前・仏前）、美容・着付け・衣装業務・貸衣装のスタイル リスト業務	
第13回目	訪問着、卒業式の袴姿の着装、社交着としてのきものTPO、	新春の和文化ときもの生活	[レポート]発表
第14回目	宮中行事（TPOの原点）、人生の節目の衣装と行事関連、長寿祝い、喪服、		[小テスト]
第15回目	海外事情、	プロトコール	

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	遅刻、欠席がなく積極的に授業に参加しているかを評価する。
レポート	20%	課題の内容を適切にまとめ、期限内に提出されているかを評価する。
調査報告書		
小テスト	30%	それぞれの授業内容が理解でき、設問に答えられているかを評価する。
試験		
発表内容（態度含む）	20%	課題を調査・研究し、よくまとめて発表できているか、態度等について評価する。
その他		

教科書と参考図書

授業時に資料を配布する。 FORMALWEAR STANDARDS' MANUAL きもの読本 参考：ブライダル関連雑誌

履修上の留意点・ルール

積極的な授業参加を臨む。授業中の携帯使用、私語、居眠り厳禁